

令和8年度 第1回 学校運営協議会(定時制部会) 議事録

校 名	大阪府立今宮工科高等学校 定時制の課程
准 校 長 名	森本 克己
出席者(委員)	学校運営協議会委員 6 名
出席者(学校)	森本准校長、向山教頭、他5名
傍 聴 者	なし
協 議 資 料	学校経営計画、分掌等からの報告等
備 考	

議題等(次第順)
➤ 分掌等からの報告、学校の現状(教務・生活指導・進路・保健・首席)について ➤ 学校経営計画について ➤ 令和8年度教科書選定について
協議内容・承認事項等(意見の概要)
○学校の現状について(分掌等からの報告) <教務部> 今年度の新入生は8名。昨年度は、例年より「再履修」となる者が多かったものの、退学を選択する生徒は大変少ない傾向にあった。 <生活指導部> 教員間での指導のばらつきをなくすため、組織的な指導体制を強化している。 <進路指導部> 生徒一人ひとりの社会的な自立やニーズに寄り添う。求人情報のオンライン化(スマホ閲覧)も導入した。 <保健部> 保健室は身体面だけでなく、心の不調を抱える生徒の重要な「居場所」となっており、スクールソーシャルワーカーやNPOと連携する「チーム学校」での支援を推進している。 ○学校経営計画について ・学習面: 基礎学力の定着に加え、Chromebook等のデジタル端末を活用した「探究的な学び」を推進する。 ・キャリア教育: 「将来の夢や目標に向けて努力している」と答える生徒の割合が低いこと(約58%)を課題とし、授業の改善や地域連携を通じて、社会の一員としての自覚を高めることをめざす。 ・生徒指導: 「ほめる・わらう・しかる」を基本とし、生徒会を中心とした「ルールメイキング」(校則やルールの見直し)への参画を通じて、生徒の主体性を育む。 ・めざす学校像: 従来の「すこやかにきびしく」を継承しつつ、現状のニーズに合わせ「丁寧で温かい指導」へと再定義し、生徒が主役となる学校作りをめざす。

⇒委員からは、次のような意見が出された。

卒業生の雇用を通じた貢献、外国籍の生徒への関心、地域全体で子どもを見守る姿勢の重要性、校内居場所事業「すずめかふえ」を通じた生徒への相談支援のさらなる充実、など。

○教科書選定について

令和 9 年度以降の教科書選定についても、現行の令和 8 年度をベースとし、学習指導要領に対応した教科書を継続して使用する方向で了承された。

○その他

Q: 校内居場所事業「すずめかふえ」の活動状況は？

A: 昨年度は 24 回開催され、延べ 364 人の生徒が利用した。居場所事業に関しては、単なる休憩場所ではなく、卒業後のケアも含め生徒が自分らしくいられる場所としての役割を担うものである。

次回の会議日程

日時:令和8年 10 月 31 日

場所:府立今宮工科高等学校